

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|--------------------|
| 施設名 | 太陽の子わかば保育園 |
| 施設所在地 | 東京都荒川区南千住5丁目44番16号 |
| 法人名 | HITOWAキッズライフ株式会社 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音 リズム 表現遊び (リトミック)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

・音楽が大好きな子どもたち、今回は、リトミック取り入れ色々な音やリズムに触れ体を使い表現遊びを子どもたちと一緒に楽しみたい。

2. 活動スケジュール

【グループ分けをする】

7月：毎週1回リトミックをグループに分け楽しむ。グループ分けについてはクラス横断。子どもたちの発達度合いに応じてグループ分けを行った。

最初は少人数に分かれて、5分～10分程度実施。曲も子どもたちの発達状況に応じた曲を選択し、各グループに分かれて子どもたちの知っている曲（きらきら星やかめやトンボやウマ等）を行う。

【リズムにあわせて体を動かす】

8月：だんだん慣れてきて、音が鳴れば体が動くようになる。

リズムの速い遅いをつけたり、高低をつけたり、さらに子どもたちが楽しく体を動かすことができるようにした。

8月：なかよしDayに向けてそれぞれの年齢にあった表現方法（絵の具を使って手形すたんぷやタンポなど）で当日着るTシャツやリュックを作成した。

【親子競技でリトミックを行う】

9月27日：まとめとして、なかよしDay（運動会）の競技の中で親子競技としてリトミックを取り入れ親子で楽しめるようにする。子どもたちは7月からリトミックを続けていたこともあり、生き生きとリトミックを踊っていた。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

- ・室内：電子ピアノを新しく常設し音に触れ楽しめるようにした。
- ・講師について：乳児園の為、知らない講師が来園しリトミックを行うと人見知りを起こしてしまい楽しめないことが予想されるため、園長とスタッフでリトミックを行うこととした。
- ・購入品：絵の具、てがたすたんぷ、筆、Tシャツ、バッグ、電子ピアノ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

【グループ分けをする】

年齢別ではなく、子供の動き（発達）別でグループを分ける必要があると考え、グループ分けを行った。講師は外部ではなく、園長と担任が行うことで、子どもたちも緊張せずにリトミックに慣れ親しむことができた。

【リズムにあわせて体を動かす】

毎週1回10分程度の時間、リトミックをすることで、子どもたちは楽しみにするようになった。また子どもたちは体を動かすことで変化が見られるようになった。以前は室内で運動遊びに取り組む機会は少なかったが、リトミックに取り組むことで体を動かすことが日常になり、運動遊びの機会が増えた。音に合わせて体で音楽を表現したり、歌ったりすることで、音楽の楽しさを感じられるようになった。

【なかよしDayに向けて準備】

なかよしDayに期待をもって参加することができるように当日着るTシャツやカバンを絵の具や筆、手、スタンプなどを使用してそれぞれ思い思いに表現しながら作成した。

【親子競技でリトミックを行う】

運動会の競技をリトミックにすることを発表したところ、保護者からの反応はよかった。平日頃からドキュメンテーション等での発信を続けていた。

子どもが率先して親にリトミックを教えてあげるような様子が当日は見られ、子どもたちの自信にもつながった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

低月齢児が多く室内では体を動かすことが少なかったが保育者が口ずさむ歌や流れる音楽に自然と体を動かしている姿が見られた為、子どもたちの好きな曲や年齢にあった曲を用意しリトミックをした。子どもたちは始めは保育者の動きをじっと見ていたが次第に楽しさがわかり、保育者の真似をしながら体を動かしていた。子どもたちが口ずさみやすい曲を選んだことで日頃の保育中にも「きらきら〜」と歌いながら体を動かす姿が見られるようになった。後半になるとリトミックが楽しいようでピアノの音を止めたり、片付けたりすると「もっと」と子どもたちがリクエストしたり、お気に入りの曲が終わると「もっかい」と要求したりする姿が見られた。日頃の様子をドキュメンテーション等で配信していた為、保護者も興味を示すようになりなかよしDay（運動会）で実施が決定。子どもたちは「こーだよ」と言ったり、自信を持って保護者の前で表現したりする姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

①取組前の様子

歌を歌うこと体を動かすことは好きでもリトミックの経験が少ない、園内でも体を動かす遊びや活動も少なかった。部屋の中では低月齢が多く遊び方が分からない為に静かに遊ぶ、過ごす姿が多かった。

②初めての体験の為周1回行っていたが毎週の楽しみになっていた。音楽と一緒に体を動かすのって楽しい。リトミック楽しい。という姿が見られるようになった。また、保育者が準備しなくても自分たちがやりたいタイミングで室内で体を動かす姿が見られるようになっていった。

③気づき

リトミックで体を動かすことで歩行等が不安定だった子どもたちが足腰がしっかりし安定するようになっていく姿を見て、散歩以外にも遊びの中で体を動かす機会をつくる大切さに気づいた。

④今後の展望

子どもたちがリトミックの楽しさに気づいたので、今後も定期的にリトミックの活動を継続することで子どもたちの表現を豊かにしたい。